

## 若杉忠宏氏に厚生労働大臣表彰が授与

—「平成28年度卓越した技能者」(現代の名工)—

11月21日、「平成28年度卓越した技能者」の表彰式が明治記念館において開催され、当工業会会員企業である三菱重工業(株)の若杉忠宏(わかすぎ ただひろ)氏に、“電気溶接工”部門で厚生労働大臣表彰が授与された。若杉氏の功績に敬意を表するとともに、名誉ある表彰をここにご紹介できることを嬉しく思う。

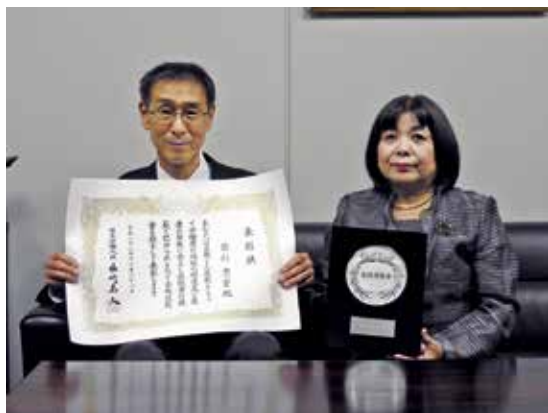
本件は、厚生労働省の技能者表彰規定にもとづくもので、卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位および技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適正に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的としており、毎年、我が国最高水準の技

能を有し、他の技能者の模範となるにふさわしい卓越した技能者を表彰している。

都道府県知事、全国的な事業主団体等、または一般社団法人もしくは一般財団法人などの推薦を受けた候補者の中から、厚生労働大臣が選定・授与しており、今回は、全国で160名の「現代の名工」が表彰を受けた。

当工業会からは、平成11年以降16名表彰されており、三菱重工業(株)としては平成19年～24年に続く7人目である。

若杉氏は現在60歳、昭和50年 三菱重工業(株)長崎造船所に入社し、昭和61年 名古屋航空機製作所、平成9年 名古屋誘導推進システム製作所(以下「名誘」)副作業長、平成15年 作業長、平成20年 係長、平成25年 主任、平成26年4月 同社における技能の最高峰の



卓越技能章と表彰状を前にした若杉氏



液体ロケットエンジン  
ノズルスカートの溶接作業

称号である範師に認定され、平成28年9月に同社を定年後も範師の職にある。この間、一貫して溶接作業に従事し、発電ボイラ用大径パイプ・チューブ等の大型構造物から液体ロケット・航空機エンジン等の中小型構造物に至るまで高品質・高精度部品の優れた溶接技能を有している。特に航空宇宙エンジン分野の溶接業務に長年従事し、液体ロケット用エンジン部品の溶接における豊富な経験に基づいた加工条件の設定、治具仕様の確定、溶接作業に関する基本から応用までの幅広い知識と技能を活かして作業時間の短縮、品質向上に大きく寄与してきた。また、卓越した技能と幅広い知識により、後進育成を行うとともに、パートナー企業への指導も行い、溶接技能の総合的なレベルアップに努めている。

## 1. 卓越した技能の概要

### (1) 航空宇宙エンジンの溶接技術

航空宇宙エンジン部品は極端な温度差や猛烈な振動といった過酷な環境下で使用されるため高い信頼性が要求される。液体ロケットエンジンは、燃焼器付近の温度が $-253^{\circ}\text{C}$ から $+3,330^{\circ}\text{C}$ 、圧力は220気圧という極低温、超高温、高圧力に耐える高い溶接技術が必要であり、ノズルスカートにおいては数百本の細い管で構成された肉厚0.25mmの極薄管への部品に対して無欠陥溶接および補修技術が求められる。すべての材料（鉄、ステンレス、アルミニウム、チタン、コバルト等）に適した溶接作業を卓越した技術をもって遂行している。

## 2. 卓越した功績・貢献の一例

### (1) 高品質溶接と工法改善

航空宇宙エンジンの溶接作業において高品質の作業を行うとともに工法改善を実施し、宇宙開発、飛行安全に大きく貢献。

### (2) レーザー補修技術の確立

技術開発分野として、今までに使ったことのない技術・設備（ハンディレーザー溶接機）を使用して、航空機エンジンに使用されている難溶接材料（インコ713C casting material）の補修溶接技術の確立に貢献。

### (3) パートナー企業への指導

各パートナー企業の品質が安定せず手直しが頻発するような場合、これらの関係先に向き、実際に溶接作業を行い、見せることで指導。実作業をもって、適正電流、ねらい目、溶接速度等の感覚を作業者に体感させることで安定した品質確保に貢献。

### (4) 社内溶接研究会ワークショップ活動

社内各事業所の関係者が集まって開催される「溶接研究会」のワークショップ活動に範師として参画。特に宇宙機器部品用の新規設備立上げ時の条件設定にタグチメソッドなどの各手法を用いることで少ないテストでの適正な条件出しに繋げるなど、短期間で製品品質を満足する溶接条件の選定に成功し、設備の早期立上げとともに宇宙機器分野の品質向上に貢献。

### (5) 社内技能教育推進会議

社内「技能教育推進会議」に名誘代表のメンバーとして参画。技能教育のあり方、人材育成方法など、全社における後進育成に貢献。

## 3. 後進の指導育成

### (1) 卓越した技能による後進への指導育成

あらゆる材質に対する溶接方法等の卓越した技能と幅広い知識、経験を活かし名誘社員はもとより協力会社従業員を含め、技術、技能の指導育成を図り、溶接技術の中心的役割を果たしている。

### (2) 技能塾を通して中堅社員を育成

作業現場における機械のNC化や自動化等

により合理化が進む一方、若い技能者が真の技能に接する機会が少なくなったことから、名誘内に体験型教育として「技能塾」を立上げ、中堅技能系社員に高度専門技能者が直接指導することにより、技能向上と伝承を図っている。これの講師長を務め、塾内の各コースへの助言を通して全体取りまとめを担うとともに、溶接技能の向上と伝承、および将来の指導者育成に貢献。

### (3) 社内溶接技能競技会の選手育成

社内関連グループを含めた「溶接技能競技会」の名誘代表出場選手への実技指導を行うとともに「モノづくり」精神の伝承にも力量

を発揮。溶接技能競技会に名誘は平成26年度、27年度の2年連続優勝を獲得。

### (4) 溶接技術勉強会を通して若手技能者の技量を向上

名誘内の若手溶接技術者を対象に「溶接技術勉強会」を開催し、これまで培った溶接技術を実演および図解をもって教育。若手技能者の技量向上に貢献。

若杉氏の素晴らしい功績をたたえとともに、今後のますますのご活躍と、これまでに培ってきた卓越した技能と豊富な経験・実績を多くの後進に伝授されることを期待する。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 広報部長 高木 伸吾〕